

十勝岳の火山災害から下流の町を守る砂防施設

Erosion control facilities protect towns in the path of a Mt. Tokachi eruption.

恐ろしい泥流の力を弱めてふもとの災害を小さくするために、国や北海道が協力して、美瑛川や富良野川に様々な施設（砂防施設）を造っています。大正泥流と同じぐらい大きな泥流がまた起こった時、その土砂や流木をどのように止め、泥流をどうやって安全に流せば良いかを考えて、様々な施設を造っていきます。

泥流の勢いを弱める施設

このような施設は泥流の方向をコントロールし、勢いを弱めたり受け止めたりする施設です。泥流を施設のある方向に流すことで下流まで安全に流下させることを目的としています。

火口

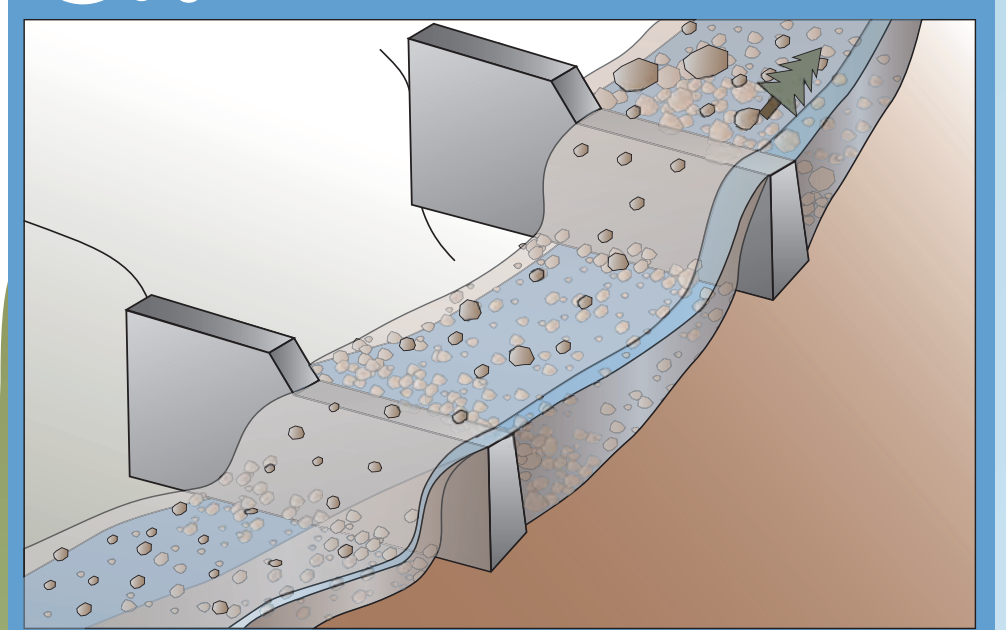
泥流発生!!

上流

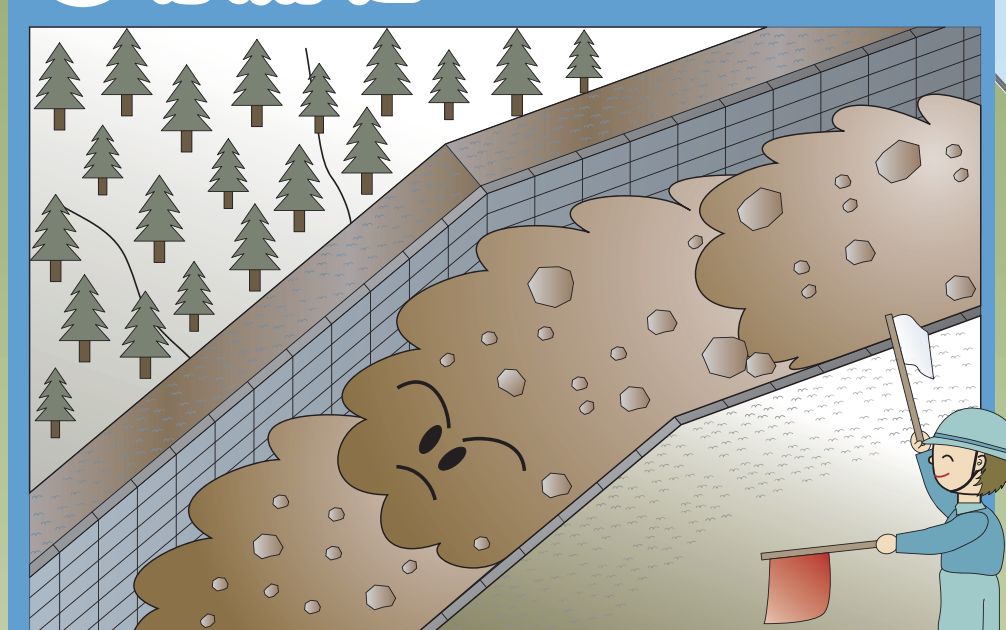
上流では、侵食を防いで土砂が流れ出すのを防いだり、泥流が周りの森林に広がって流木が増えるのを防ぐような施設が造られています。

① 侵食を防ぐ

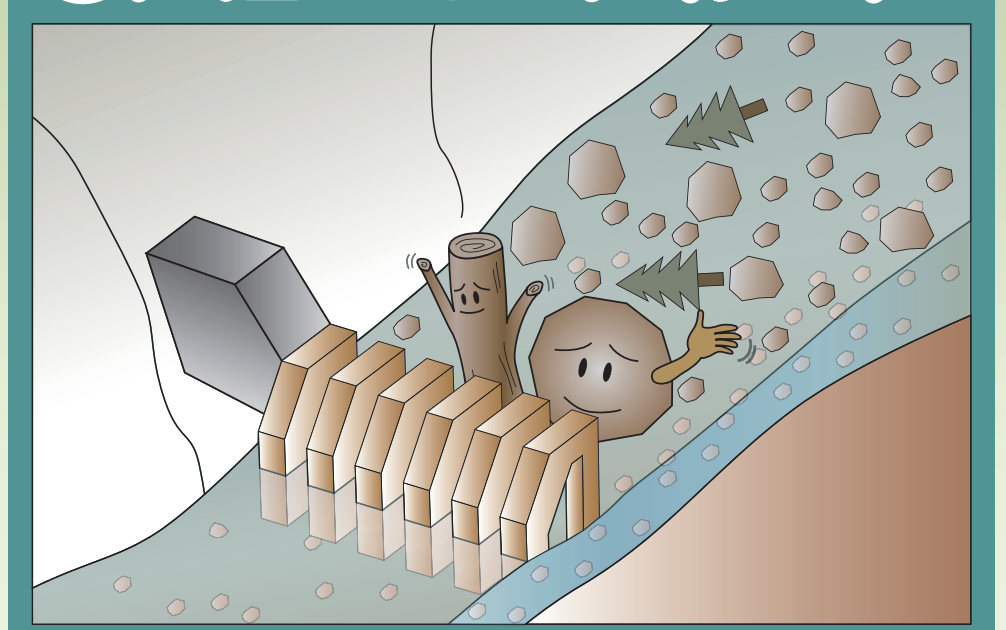
① 床固工



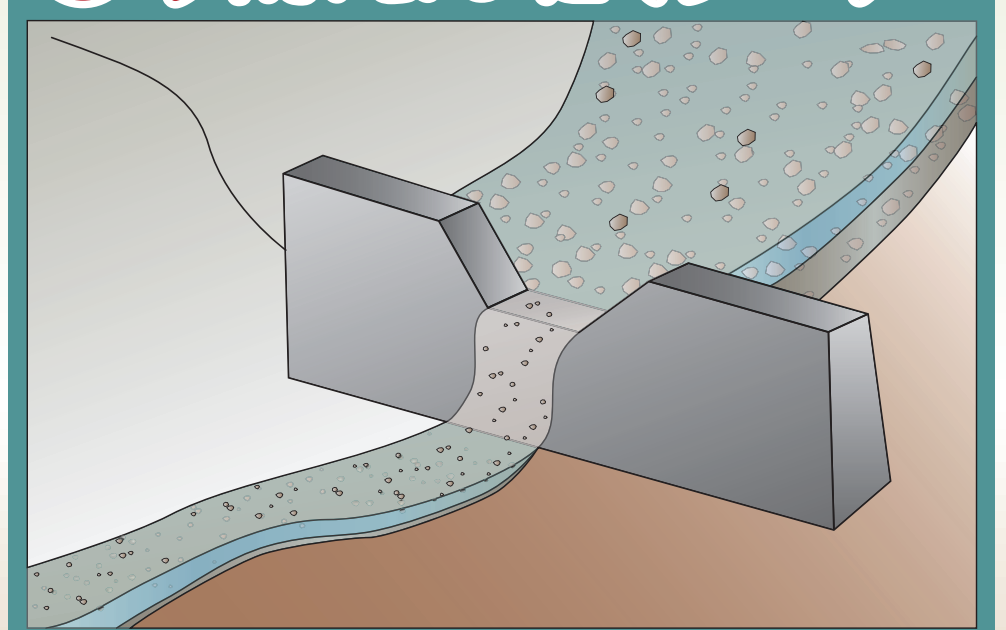
② 導流堤



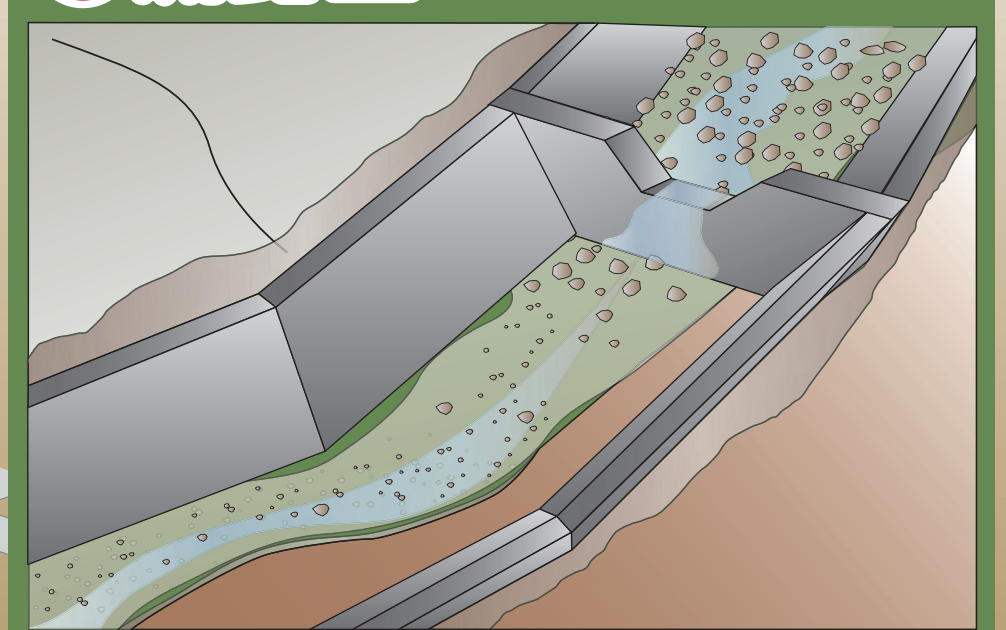
③ 透過型えん堤(ダム)



④ 砂防えん堤(ダム)



⑤ 流路工



中流

中流では、主に大きな岩や流木を止めます。普段は細かい土砂を通過させますが、泥流が発生した時に岩や流木がえん堤に詰まると、たくさんの土砂もためることができます。

大きな岩や流木を止める

土砂や流木を止める

流れをコントロールして
泥流を安全に流す

下流

下流では、小さな石や砂をため、勢いを弱めます。

